

「虫と火まつり」盛り上げ任せて」

五所川原

「虫と火まつり」 盛り上げ任せて

親善大使、市役所訪問

五所川原市で16日に行われる「奥津軽虫と火まつり」(五所川原青年会議所主催)を前に、祭りの親善大使を務める市内の高校生や学生たちが7日、同市役所を訪れ、祭りにかける意気込みを語った。

表敬したのは、親善大使に任命された市内の高校生や東北職業能力開発大学校青森校の学生と坂本興平青年会議所理事長ら10人。

親善大使は市内の小学校を訪れ、児童に「虫おくり」の行事について教える紙芝居を上演したり、祭りで使うミニたいまつを作ったりしている。



三上副市長（後列中央）を表敬した「奥津軽虫と火まつり」の親善大使ら

居を上演したり、祭りで使うミニたいまつを作ったりしている。

能開大学校1年の三上涼介さん(18)は「祭りでは見ている人を盛り上げ、自分も楽しみたい」、

五所川原農林高校3年の木村涼介さん(17)は「紙芝居などを通じて地域の小学生に祭りのことを伝えていきたい」と話した。

応対した三上裕行副市長は「古くから伝わる祭りを紙芝居を通して小学生に伝えてくれてありがとう」と高校生たちを励ましていた。
(三浦博史)

※この画像は、当該ホームページに限って
東奥日報社が利用を許可したものです。